人権に関する市民意識調査

【調査へのご協力のお願い】

市民の皆さまには、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

高松市では、すべての市民の皆さまの人権が尊重されるまちをめざし、様々な取組みを進めています。

今回、ご協力をお願いいたします「人権に関する市民意識調査」は、私たちのまわりにある様々な人権問題などについて、市民の皆さまの率直なご意見をお聞きし、そのご意見を参考に、これからの市の人権尊重を基本としたまちづくりに役立てるためのものです。

今回の調査は、高松市にお住まいの20歳以上の方の中から無作為抽出により3,000人を選び、行うもので、あなたを回答者の一人に選ばせていただきました。調査は無記名でお願いいたしますので、個人の回答内容が分かることはなく、また、この調査の目的以外に使用することはありません。

突然のお願いで誠に恐縮ですが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成19年（2007年）8月

高松市長 大西 秀人

ご記入に当たってのお願い

- ☆ 必ず封筒のあて名のご本人がご記入ください。
- ☆ ご回答は、該当する番号を○で囲んでください。
- ☆ ご記入いただいた「調査票」用紙は、無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、平成19年8月31日（金）までに郵便ポストへご投函ください。

この調査票に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

高松市番町一丁目8番15号（高松市役所・7階）
高松市市民政策部人権啓発課
電話 839-2292 FAX 839-2291
E mail: keihatsu@city.takamatsu.lg.jp

【人権侵害】

問 4 今までに自分の人権が侵害されたと思われたことがありますか。
(○は1つだけ)

- 1 ある → 問 4 - 1、問 4 - 2 へ
2 ない
3 わからない → 問 4 - 2 へ

問 4 - 1 問 4 で 1 を選ばれた方にお尋ねします。
どのようなことで人権が侵害されたと思われましたか。
(○はいくつでも)

- 1 あらぬうわさや悪口などによる名誉や信用の侵害
2 公的機関や企業などによる不当な扱い
3 地域や職場などでの暴力、脅迫、無理強い、仲間はずれなど
4 家庭での暴力や虐待
5 人種、信条、性別、社会的身分又は門地による政治的、経済的、社会的関係における差別
6 プライバシーの侵害
7 性的いやがらせ (セクシュアル・ハラスメント)
8 その他 ()
9 わからない

問 4 - 2 すべての方にお尋ねします。
(問 4 で「ある」を選ばれた場合) どのように対応しましたか。
また、(問 4 で「ない」または「わからない」を選ばれた場合) 自分の人権が侵害されたと思われたとき、どのように対応されますか。
(○はいくつでも)

- 1 友だち、同僚、上司に相談した (または相談する)
2 家族、親戚に相談した (または相談する)
3 地域の自治会長や民生委員児童委員に相談した (または相談する)
4 法務局、人権擁護委員に相談した (または相談する)
5 公的機関 (県・市) に相談した (または相談する)
6 警察に相談した (または相談する)
7 弁護士に相談した (または相談する)
8 民間団体に相談した (または相談する)
9 相手に抗議するなど、自分で解決した (または解決する)
10 その他 ()
11 何もしなかった (またはしない)

【同和問題】

問5 「同和問題」と言われる人権問題を知っていますか。
(○は1つだけ)

- 1 よく知っている
 - 2 少しは知っている
 - 3 聞いたことがある
 - 4 まったく知らない
- 問5-1、問6へ
- 問6へ

問5-1 問5で1、2、3のいずれかを選ばれた方にお尋ねします。
同和問題のことをどのようにして知りましたか。
(○は1つだけ)

- 1 祖父母から聞いた
- 2 父母から聞いた
- 3 その他の家族から聞いた
- 4 親戚の人から聞いた
- 5 近所の人から聞いた
- 6 職場の人から聞いた
- 7 友人から聞いた
- 8 学校の授業で教わった
- 9 テレビ、ラジオ、映画、新聞で知った
- 10 書籍で知った
- 11 講演会や学習会で知った
- 12 市や県の広報紙や冊子で知った
- 13 はっきりおぼえていない
- 14 その他 ()

同和問題 自然には解決しません

同和問題は、同和地区（被差別部落）と呼ばれる地域の出身者であること、あるいは住んでいることを理由に、結婚を反対されたり、就職や日常生活のうえで様々な差別を受ける日本固有の人権問題です。昭和44（1969）年以降、法に基づき各種の特別対策を講じ（平成14（2002）年終了）、生活環境などの改善は進みましたが、未だに結婚や就職などの心理的差別は解消していません。また不正な身元調査や差別落書き、「えせ同和行為」など、同和問題への誤解や偏見を助長する事件が起きています。

問 6 すべての方にお尋ねします。

仮に、次のような立場に立ったとしたら、あなたはどのようにしますか。
(○はそれぞれ1つだけ)

① あなたの職場や近所の人、同和地区出身の人だとわかった場合

- 1 これまでと同じように、親しくつきあう
- 2 つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う
- 3 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う
- 4 つきあいはやめてしまうと思う
- 5 その他 ()
- 6 わからない

② あなたの家族(お子さんなど)が結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合

- 1 たとえあなた以外の家族や親戚の反対があっても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う
- 2 結婚しようとするあなたの家族の意志を尊重し、結婚に賛成すると思う
- 3 不安であるが、結婚しようとするあなたの家族の意志が強ければしかたがないと思う
- 4 家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う
- 5 結婚に賛成しないと思う
- 6 その他 ()
- 7 わからない

③ あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合

- 1 自分の意志を貫いて結婚する
- 2 家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、できるだけ理解を得て、自分の意志を貫いて結婚する
- 3 家族や親戚の反対があれば結婚しない
- 4 絶対に結婚しない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

④ あなたの親しい友人が、同和問題について強い偏見をもっていることがわかった場合

- 1 その友人の偏見をただすように、努力すると思う
- 2 誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う
- 3 特に何もしないと思う
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問7 同和問題に関する事で、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか。(○は3つまで)

- 1 結婚に周囲が反対する
- 2 就職・職場で不利な扱いを受ける
- 3 差別的な発言
- 4 差別的な落書き
- 5 結婚や就職などの際に身元調査が行われる
- 6 インターネット上に差別的な情報が掲載される
- 7 同和地区住民との交流や交際を避ける
- 8 同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの「えせ同和行為」
- 9 その他 ()
- 10 特に問題はない
- 11 わからない

問8 同和問題の解決のためには、どのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)

- 1 同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動を推進する
- 2 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- 3 えせ同和行為を防止する取組を充実する
- 4 同和問題についての人権相談体制を充実する
- 5 同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく
- 6 その他 ()
- 7 特に必要なことはない
- 8 わからない

【女性の人権】

問 9 女性に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか。
(○は3つまで)

- 1 男女の固定的な役割分担（「男は仕事、女は家庭」など）
- 2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い
- 3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備
- 4 ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）
- 5 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- 6 ストーカー（つきまとい）、痴漢行為
- 7 買春、援助交際
- 8 アダルトビデオ、ポルノ雑誌などの性の商品化
- 9 内容に関係がなく女性のヌードや水着姿を掲載した雑誌や広告
- 10 その他（ ）
- 11 特に問題はない
- 12 わからない

問 10 女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思えますか。
(○は3つまで)

- 1 男女平等の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する
- 2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境をつくる
- 3 企業が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする
- 4 議員や審議会委員など政策・方針決定の場へ、男女が平等に参画する
- 5 女性に対する犯罪の取締りや罰則を強化する
- 6 女性のための人権相談体制を充実する
- 7 マスコミ等が紙面、番組、広告などの内容に配慮する
- 8 男女が共に社会の担い手として、慣習やしきたりの見直しを行う
- 9 その他（ ）
- 10 特に必要なことはない
- 11 わからない

女性 男女が共にいきいきと

依然として性差別意識（固定的な性別役割分担意識、男性中心の慣習など）が残っています。職場では改正男女雇用機会均等法などによって改善が進んでいますが、まだまだ女性管理職の登用が少ないのが現状です。また、配偶者からの暴力やセクシュアル・ハラスメントなど女性に対する人権侵害が社会問題となっています。